神奈川県

子どもの心へ届けたい本

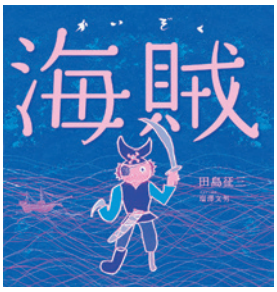
平成 25 年度　神奈川県児童福祉審議会推薦

優良図書

1　幼児以上対象

海賊

自由気ままに一人で海と暮らしていた海賊が、ある日人魚に恋をした。人魚を苦しめる人間の船に戦いをいどむが、歯が立たず逆に追われる身となる。結局人魚は死んでしまい、海賊船も空のかなたに消えていった。



田島征三 / 作
ポプラ社　1,400 円（税別）

だいすき　ぎゅっ　ぎゅっ

朝ごはん食べたあと、ぎゅっ！ご本を読んだあと、ぎゅっ！おさんぽしたあと、ぎゅっ！ママがぼうやを何度もぎゅっと抱きしめる。愛情がたっぷり子どもにふりそそぐ絵本。

フィリス・ゲイシャイトー、ミム・グリーン / 文
ディヴィッド・ウォーカー / 絵
福本友美子 / 訳
岩崎書店　1,100 円（税別）

ばななせんせい

つちのこえんのほしぐみに、ばななせんせいがやってきた！小さな野菜の子ども達は、ばななせんせいとお外に出て遊具で遊ぼうとしますが、おひさまぐみのおにいさんやおねえさんが使わせてくれません。それを見たばななせんせいは、ばななぶらんこやばななしーそーになって子どもと一緒に遊びます。

得田之久 / 文
やましたこうへい / 絵
童心社　1,100 円（税別）

幼児以上対象　計３冊

2　小学校低学年以上対象

あててぇな　せんせい

小学校一年生のよしみは本を読むのが好き。でも、国語の時間にあてられると、手足が震えて声が出ない。みんなが笑っている気がして、走って家に帰り、おかあちゃんの前で泣いてしまう。おかあちゃんはよしみを抱きしめて、何度も本読みを聞いてくれる。次の日の国語の時間、おかあちゃんの「だいじょうぶ」に支えられ、よしみは元気に手をあげることができる。

木戸内福美 / 文
長谷川知子 / 絵
あかね書房　1,200 円（税別）

じゃんけんのすきな女の子

とてもじゃんけんのすきな女の子がいた。だれとでもじゃんけん、何を決めるにもじゃんけん。だから、おとうさんもおかあさんも少々あきれ顔。暑い夏の日、留守番中の女の子は、とても大事なことを決めるじゃんけん勝負をすることに…！さてその相手とは？

松岡享子 / 作
大社玲子 / 絵
学研教育出版　1,100 円（税別）

だいすき、でも、でもね

まいちゃんはまっしろなこねこのバニラがだいすき、でもバニラはとつぜんぎゅううううっとだきしめるまいちゃんよりソファの青いクッションがだいすき。でもソファの青いクッションは…？でも、でもね。

二宮由紀子 / 作
市居みか / 絵
文研出版　1,300 円（税別）

ハンカチ隊長

人のためになるレスキュー隊に憧れるケンちゃんは、汗をかいている人のためにハンカチをあげるハンカチ隊長に。ある日、学校の帰り道で、はだしのままの見知らぬおばあちゃんに出会って…。表題作「ハンカチ隊長」の他、８つの物語を１冊にまとめた短編集。

福井智 / 作・絵
国土社　1,200 円（税別）

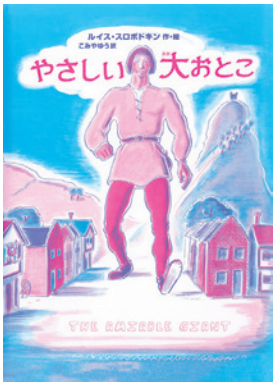
2 小学校低学年以上対象

ぼくは ここにいる

みんなが楽しそうに話す声や遊ぶ音がガンガンと響いて耐えられない“ぼく”。一人でいるけれど、やさしくふいてきた風がはこぶ葉っぱや紙で、“ぼく”なりの形で、ここにいること、ともだちとつながっていることを感じている。

ピーター・レイノルズ / 作
さかきたもつ / 訳
小峰書店　1,400 円（税別）

やさしい大おとこ



山の上の城に住む大男はふもとの村人と友達になりたいと思っていたが、声が大きすぎて誰もが耳をふさいでしまうため話が通じない。そこに付け込んだ魔法使いの悪だくみのせいで、逆に村人を苦しめることになってしまう。ところが偶然、大男が本当は何を言っているかを聞いた少女グエンドリンの機転により、悪者は退治され、大男と村人は仲良くなることができた。

ルイス・スロボドキン / 作、絵
こみやゆう / 訳
徳間書店　1,700 円（税別）

小学校低学年以上対象　計６冊

3 小学校中学年以上対象

石の巨人 ミケランジェロのダビデ像

フィレンツェの教会の裏にダビデ像を彫るために置かれた巨大な大理石。風雨にさらされたみじめな石に、ミケランジェロが命を吹き込む。ダビデ像を完成させ、フィレンツェの人々に希望と勇気を与えられるか…。ダビデ像誕生の物語。

ジェーン・サトクリフ / 文
ジョン・シェリー / 絵
なかがわちひろ / 訳
小峰書店　1,500 円（税別）

かあちゃん取扱説明書

ぼくの作文を読んだ父ちゃんは大笑いして「かあちゃんはほめるときげんがよくなるんだ。とにかくほめること。パソコンもビデオも扱い方をまちがえると動かないだろ、それと同じさ」…哲哉はこうして、かあちゃん取扱説明書を書きはじめたのだが…。

いとうみく / 作
佐藤真紀子 / 絵
童心社　1,200 円（税別）

カホのいれかわり大パニック

主人公のカホは「どうせ、あたしなんか…」が口ぐせ。さかあがりができなくて恥ずかしい思いをした上に友達ともぎくしゃくしてしまい、落ち込みの極致に達したところで自分の“かげ”と入れ替わってしまった。かげは、カホが思いもよらない言動ですっかりみんなと仲良くなり、さかあがりさえできそうになる。あせったカホは出来ないとあきらめていたさかあがりに挑む。

横田明子 / 作
木村いこ / 絵
岩崎書店　1,200 円（税別）

劇団６年２組

観劇会で上演されたプロの劇を見て、小学校６年生の立樹は震えるほどの感動を覚えた。近づく卒業式、その前のお別れ会では６年生がクラスごとに下級生に芸を見せる。立樹たち６年２組が選んだ劇目は何か。それらは成功を収めるのか…。

吉野万理子 / 作
宮尾和孝 / 絵
学研教育出版　1,300 円（税別）

ささぶね うかべたよ

子どもにもわかる言葉で真実の世界をうたう個人詩集のジュニアポエムシリーズの一冊。

火星雅範 / 詩
西川律子 / 絵
銀の鈴社　1,200 円（税別）

地獄坂へまっしぐら！

いつのまにか、度胸だめしの「地獄坂」をマウンテンバイクでかけおりることになったマーヴィン。新しい自転車は大きすぎて、またぐのもやっと。ギアやブレーキの使い方もわからない。猛スピードでふくらむクラスメイトの期待におしつぶされそうになるマーヴィンは「地獄坂」に立つことができるのか？

ルイス・サッカー / 作
はらるい / 訳
むかいながまさ / 絵
文研出版　1,200 円（税別）

3　小学校中学年以上対象

新島八重 ～激動の時代をまっすぐに生きた女性の物語。～

2013 年 NHK 大河ドラマ主人公・新島八重（旧姓山本、1845(弘化 2)～ 1932(昭和 7)年）。八重は小さい頃「なぜ男と女は同じことを学ばないのか（性差別があるのか）」と疑問を持ったが、先進的な考えの兄・覚馬から「これからの時代は自分が好きだと思ったことをやればいい」という助言を得て、自分の信念を貫いて幕末から明治の激動の時代を生きていった。

白石まみ / 著
学研教育出版　700 円（税別）

ねこじゃら商店 世界一のプレゼント

おのぞみのものがなんでも手にはいる、「ねこじゃら商店」。ただ、店への道すじを知っているのはのらネコだけ。店のあるじは、白菊丸という名の年とったぶちネコである。どんなお客が、どんなすばらしい買い物をしたのか…?

富安陽子 / 作
平澤朋子 / 絵
ポプラ社　1,000 円（税別）

美術館ってどんなところ？

ワイドな見開きページで美術館の建物の構造をのぞいたり、自分だけのミュージアムをつくったり…。読み終わったときには、美術館のもの知り博士になっているはず。美術館での教育普及活動がさかんな昨今、子どもたちが美術館のしくみを知り、美術館をもっと楽しく体験するための入門ガイド絵本。

フロランス・デュカトー / 文
シャンタル・ペタン / 絵
野坂悦子 / 訳
西村書店　1,600 円（税別）

ものだま探偵団 ふしぎな声のする町で

五年生の七子が引っ越してきた家は、坂木町にある古い一戸建て。夜中に、部屋でだれかが話している声が聞こえ、ふしぎなことが…。そんなある日、七子は、クラスメイトの鳥羽が公園で、ひとりでしゃべっているのを見かけた。そばにはだれもいないのに、男の人の声も聞こえる。話し相手は、何とかさ立てのツボ。この町では、ものについている魂「ものだま」の声が聞こえるらしい…。七子のまわりで起こるふしぎなできごとを、「ものだま探偵」鳥羽は解決できるのか！？

ほしおさなえ / 作
くまおり純 / 絵
徳間書店　1,500 円（税別）

小学校中学年以上対象　計10 冊

4　小学校高学年以上対象

いのちをつなぐ

東日本大震災で被災したのは人間だけではない。原発事故や津波の影響で、飼い主と離れ離れになってしまった犬が、間一髪のところで殺処分を免れ、セラピードッグとして成長していく。その過程をつづった 14 頭の犬の物語である。

大木トオル / 著
岩崎書店　1,300 円（税別）

グリム童話全集 子どもと家庭のむかし話

グリム兄弟が話を編集して「子どもと家庭のむかし話」として世に送り出した童話集。200 年を超えて、今も世界 160 か国語に、翻訳されて読み継がれているグリム童話の全 210 話が一冊にまとめられている。

シャルロット・デマートン / 絵
橋本孝、天沼春樹 / 訳
西村書店　3,600 円（税別）

考古学ふしぎ図鑑 世界の発掘現場と冒険家たち

筆者が 30 年かけて撮り続けた考古学現場のドキュメンタリー絵本。イースター島のモアイやナスカの地上絵、エジプトの砂漠のミイラなど、世界 15 か所の発掘現場やその遺跡を発掘した考古学者や研究者を紹介する。

ステファヌ・コンポワン / 文、写真
野中夏実 / 訳
西村書店　2,400 円（税別）

心をつなぐボール

一流のスポーツ選手がみんなの質問にこたえる「スポーツが教えてくれたこと」シリーズの 2 巻。質問にこたえているのは、プロサッカー選手の中村憲剛。小学校一年生の時に母親の勧めでサッカーを始めた。その時から「サッカー＝人生」となった。子供の頃、身体が小さかった中村選手は何度も壁にぶつかり、悩み、「自分で考える」ことを身につけた。負けず嫌いで誰よりも一生懸命に練習した。質問にこたえながら、小学校一年生から 32 歳までのサッカー人生を語る。

中村憲剛 / 監修
あかね書房　1,400 円（税別）

4　小学校高学年以上対象

100 グラムのいのち

捨てられたペットを救う活動を続ける動物愛護団体ミグノンの友森玲子さんの活動を追いながら、動物の命について考える。3.11 東日本大地震被災地での保護活動や、具体的に動物を救う方法も書かれている。

太田京子 / 著
岩崎書店　1,300 円（税別）

マウとバウのクリスマス

ネコのマウは気まぐれなロマンチストで、イヌのバウは現実的な働き者。クリスマスが近づき、バウはマウのために、大きな雪玉でアドベントカレンダーを作った。マウはうれしさのあまり、雪玉にさわってしまい、雪玉は村に向かって転がっていってしまい…。

ティモ・パルヴェラ / 作
末延弘子 / 訳
矢島眞澄 / 絵
文研出版　1,400 円（税別）

メッシ ハンデをのりこえた小さなヒーロー

幼少時、リオネル・メッシは、成長ホルモン分泌不全症のため、背が小さいことにコンプレックスを感じていた。家族や友人や先生などの周囲の支えや、天性の才能、そして本人の努力によって病を乗り越え、メッシ少年は弱冠 13 歳にして FC バルセロナと契約を結ぶ。ハンデを抱えていたメッシの幼少期のエピソードを、物語仕立てにした作品。

マイケル・パート / 著
樋渡正人 / 訳
ポプラ社　1,200 円（税別）

ローズの小さな図書館

1939 年、テキサス州は大干ばつに見まわれ、ある家族の父親が家を出て行った。残された家族は、ルイジアナ州に移り住むが、14 歳のローズは、家計を助けるため、年齢を偽り、移動図書館の運転手になる。本を書くことを夢見る少女が、成長していく。ローズの息子、孫、ひ孫とその時代に流行した本がつむぎ出す家族の物語。そして、ローズの長年の夢はかなえられるのか…。

キンバリー・ウィリス・ホルト / 作
谷口由美子 / 訳
徳間書店　1,600 円（税別）

小学校高学年以上対象　計８冊

5　中学校・高校以上対象

いのちの夏

純粋ないのちに出会った夏があった。少年が愛した永遠の魂。今も、その少女の魂を抱いてそびえる故郷の山よ、「タケ山」―北国の農村地帯で育った少年、周一は、子ども同士の争いに巻き込まれ、自ら鉄橋から谷川に飛び込む羽目に。傷ついた心はいっそう、幼い時から憧れたタケ山に吸われてゆき、ついに、山の精のような少女、美江子と出会う。

石井収 / 著
銀の鈴社　800 円（税別）

中学校・高校以上対象　計１冊

神奈川県では、青少年の皆さんに読んでいただきたい本を、神奈川県児童福祉審議会の審議を経て選びました。（平成 26 年２月４日推薦）
心の成長期にある青少年が優良な図書に触れることは、とても大切なことと考えています。
青少年に勧めていただく際の参考として御活用いただければ幸いです。

神奈川県児童福祉審議会の審議にあたり、神奈川県読書推進会には情報提供をお願いし、県立図書館には予備調査を実施していただくなど、ご協力いただきました。

問い合わせ先　神奈川県県民局次世代育成部青少年課地域環境グループ　045−210−3848
http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4151/

平成26年３月発行